



平成 30 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社エンビプロ・ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 佐野 富 和
(コード番号：5698 東証第二部)
問 合 せ 先 執行役員 経営企画部長 竹川 直 希
(TEL. 0544-58-0521)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 5 月 14 日開催の取締役会において、下記のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年 8 月 10 日の平成 29 年 6 月期通期決算発表時に開示した平成 30 年 6 月期（平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）の業績予想及び配当予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 当期の連結業績予想数値の修正（平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）

	売 上 高 (百万円)	営 業 利 益 (百万円)	経 常 利 益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	31,573	884	1,078	736	56 円 93 銭
今回修正予想(B)	37,797	989	1,250	845	65 円 33 銭
増 減 額(B-A)	6,224	104	171	109	
増 減 率(%)	19.7	11.9	15.9	14.8	
(参考)前期実績 (平成 29 年 6 月期)	29,122	796	1,000	768	59 円 42 銭

(注)平成 30 年 1 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 修正の理由

売上高は、当社主要品目である鉄スクラップや非鉄金属相場の上昇局面を活用した工場でのリサイクル資源の集荷・生産や輸出取引が好調に推移し、前回発表予想を 19.7%上回る見込みであります。

営業利益につきましては、新規事業関連の木質系バイオマス燃料に関する事業や障がい者就労移行支援施設の新規出店、デジタルサイネージ事業への投資等、再生プラスチックの生産及び販売事業を行う合弁会社である株式会社プラ 2 プラやリチウムイオン 2 次電池等の電池リサイクル事業を行う株式会社 V O L T A の設立等、積極的な投資により各種費用が増加したもの

の、前述のリサイクル資源の集荷・生産や輸出取引が好調に推移し利益を確保したことにより、前回予想を 11.9%上回る見込みであります。

経常利益につきましては、営業利益の増加に加え、相場の上昇による持分法投資利益の増加により前回予想を 15.9%上回る見込みであります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、営業利益及び経常利益の上振れにより、前回予想を 14.8%上回る見込みであります。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (平成 29 年 11 月 13 日)	0 円	15 円	15 円
今 回 修 正 予 想	—	17 円	17 円
当 期 実 績	0 円		
前 期 実 績 (平成 29 年 6 月 期)	0 円	30 円	30 円

(注) 当社は、平成 30 年 1 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。平成 29 年 6 月期の配当金については、当該株式分割が行われる前の数値で記載しており、平成 30 年 6 月期(予想)の配当金については、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

(2) 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を重要課題の一つとして認識し、業績に応じた利益配分、経営基盤強化のための内部留保等を総合的に勘案しながら、長期的な視野に立ち、安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針といたします。

この方針のもと、平成 30 年 6 月期の 1 株当たりの期末配当金につきましては、17 円を当初予想しておりましたが、今回の業績予想の修正を踏まえ、期末配当予想を 2 円増配して 17 円といたします。従いまして年間の配当予想は 17 円となります。

なお、本件につきましては、平成 30 年 9 月開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上